

1 パブリックコメント件数（合計92件）

意見の内容	件数
戦略全体	3
観光推進プロジェクト	36
食品等外商拡大プロジェクト	26
万博・IR連携プロジェクト	7
3つのプロジェクトを横断的に支える取り組み	16
その他	4

2 パブリックコメントへの対応状況（合計92件）

意見への対応	件数
(1)既に戦略（案）に盛り込んでいるもの	52
(2)意見を踏まえ、新たに戦略（案）に盛り込むもの	2
(3)今後の検討課題とするもの	18
(4)産業振興計画で取り組むもの	13
(5)その他	7

3 パブリックコメントへの対応状況

(1) 既に戦略（案）に盛り込んでいる主な意見

観光推進プロジェクト	食品等外商拡大プロジェクト	3つのプロジェクトを横断的に支える取り組み
①VR動画での「自然」や「祭り」の体験など、デジタル技術を活用した誘客策を講じてはどうか ②高知の自然・食・人を題材にSNSを活用した情報発信を行うことによりインバウンドの誘致につなげてほしい ③コロナ後のインバウンド需要の回復を見込み関西圏を經由した本県への誘客策を積極的に講じるべき ④四国を周遊する観光ルートの整備など、四国4県が連携してインバウンドに取り組むべき ⑤関西圏の「よさこいチーム」の合宿誘致	①関西圏に拠点を置く大手卸売業者や小売業者への販路開拓を行ってほしい ②関西圏における商談の機会を拡充してほしい ③関西圏で営業している飲食店等のネットワーク化を推進し、スタンプラリーの実施などにより、県産品のPRや情報発信を行ってはどうか ④県産木材を表すロゴマークを作成し、PRに活用してはどうか ⑤他県に先行して取り組んできた防災減災・強靱化産業の育成及び外商をさらに加速すべき ⑥外貨を稼ぐための水産加工施設の建設を促進すべき	①関西圏における高知家プロモーションの実施・高知ならではの「文化」や「人」に焦点をあてて、尖った高知流のプロモーションを行うべき ②デジタル技術を活用し高知県のファンクラブを結成してはどうか ③海外からの移住も視野に入れた外国人材の活用を行うべき ④関西圏の高知県人会との連携を強化すべき

(2) 意見を踏まえ、新たに戦略（案）に盛り込むもの

プロジェクト	意見	意見への対応
食品等外商拡大プロジェクト	○物流マッチングシステムの構築 ・良い商品があっても物流コストの問題で取り引きに至らないことが多いことから、市場便や民間企業の物流等を活用し、コストを抑えた配送手段を構築すべき	○物流コストの軽減に向けて、課題等を整理するとともに効率的な物流の仕組みづくりについて検討を行う。 ⇒「戦略2 ウィズコロナ時代に対応する商品開発や外商活動の推進」に「 5 関西圏における効率的な物流の仕組みづくりの検討 」を追加
3つのプロジェクトを横断的に支える取り組み	○関西圏の大学との連携強化の促進 ・現在、就職支援協定を締結している関西圏の大学との関係を深化させ、単位互換協定を締結してはどうか	○関西圏の大学との就職支援協定の締結や県内大学との連携を強化し、本県へのUターンの促進や学習環境の向上に取り組む ⇒「2 関西圏の関係人口へのアプローチの強化とUターンの促進」に「 関西圏の大学との連携強化によるUターンの促進 」を追加

（3）今後の検討課題とする主な意見

プロジェクト	主な意見	意見への対応
観光推進プロジェクト	①本県と似通った環境にある和歌山県を意識した戦術で、本県の魅力を際立たせてはどうか	○関西戦略では、和歌山県との連携も見据えており、双方にとってメリットがある誘客策を検討していく
	②高知県内の土産物店のみで利用できる金券を関西圏でのイベントなどで配布してはどうか	○誘客のインセンティブ策は、一般的には、コロナ禍による観光需要喚起など、特別な対策として実施するものと考えている ○関西圏からの誘客に向けて、インセンティブ策も含め、効果的な誘客策を研究していく
	③航空会社との連携を強化し、新規就航を要望すべき	○コロナ禍により既存の航空便も大きな影響を受けており、現状では、既存路線の維持・存続に取り組んでいる状況 ○今後、コロナ禍の収束や航空需要の回復など、航空業界を取り巻く環境が好転した際には、関西路線再開の働きかけや国際直行便も含め、様々な角度から路線の誘致を行う
食品等外商拡大プロジェクト	○関西圏においてアンテナショップを設置すべき ・大阪市中心部への設置 ・飲食店併設グローサント型アンテナショップの設置 ・郊外型の道の駅スタイルのアンテナショップの設置 ・「ひろめ市場」形式での高知県ゆかりの飲食店等の設置	○アンテナショップの設置については、必要性や費用対効果などを見極める必要がある ○民間が運営する「公認アンテナショップ」への支援などを含め、引き続き検討を行う ○関西戦略では、新たに高知県テーマの飲食店等を対象とした「高知家の逸品応援の店」制度を設け、県産品の販売や観光情報の発信に取り組む
万博・IR連携プロジェクト	①大阪・関西万博への参画 ・県産食材を提供するレストランの出店、県産品のPRブースの設置すべき ・四国4県が連携し「四国家」としてパビリオンを設置すべき	○大阪・関西万博は、パビリオン出展や劇場、広場等での催事への参加など、全国の自治体が参加できる仕組みが用意されている。また、会場内には、レストランなどの飲食施設や地域物産店などの物販施設が設置される見込み ○万博は、国内のみならず全世界に本県をPRする絶好の機会であることから、施設内での県産食材の提供や県産品の販売、観光情報の発信などに向けた検討を行っているところ ○現時点では、参加要件や費用などが判明していないことから、引き続き情報収集していくとともに、参加にあたっては費用対効果を踏まえて検討を行う
	②大阪・関西万博の施設や関連施設で「よさこい」をPRしてはどうか	○大阪・関西万博は、劇場や広場等での催事への参加など、全国の自治体が参加できる仕組みが用意されている ○万博は、国内のみならず全世界に本県をPRする絶好の機会であることから、施設や関連施設での「よさこい」を含めた本県観光PRの方法を検討していく